

指定管理者制度導入施設 モニタリングチェックシート

(平成28年度 上半期(4月～9月) の管理運営状況)
年間 (4月～3月)

施設名	秋川溪谷瀬音の湯	指定管理者	新四季創造株式会社
指定期間	平成27年4月1日から 平成32年3月31日まで	担当課	観光まちづくり推進課

1 業務の遂行状況及び収支の状況

項目	分類	年間計画 (A)	実績 (B) (モニタリング時)	対計画比率 (B/A×100)	
業務の 遂行状況	開館日数 (日)	359	359	100.0%	
	延べ利用者数 (人)	471,770	442,511	93.8%	
	事業開催 回数	必須事業 (回)	359	359	100.0%
		自主事業 (回)	—	—	—%
収支状況	収入	指定管理料 (円)	—	—%	
		利用料金収入(売上) (円)	371,000,000	356,361,788	96.1%
		自主事業収入 (円)	—	—	—%
		その他の収入 (円)	14,000,000	11,408,982	81.5%
	収入計 (円)		385,000,000	367,770,770	95.5%
	支出	人件費 (円)	150,060,000	145,439,027	96.9%
		維持管理経費 (円)	121,720,000	107,346,452	88.2%
		自主事業関係経費 (円)	—	—	—%
		その他の支出 (円)	109,220,000	110,507,031	101.2%
	支出計 (円)		381,000,000	363,292,510	95.4%
収支 (収入－支出) (円)		4,000,000	4,478,260	—%	

指定管理者の自己評価 (改善点、その他特記事項)

【開館日数・利用者数について】 開館日数：359日 休館日：6日 利用者数：442,511人 (前年同期比：40,200人減)	【事業の実施状況について】 消費者の節約志向に加え、近隣大型温泉施設の新設等により厳しい環境下でありながら、地域との密接な連携を図りつつ、集客の強化、売上の向上に傾注した。	【収支状況について】 収支状況は、前年同期比で収入が19,644千円減少したが、自助努力等により、人件費・水道光熱費等の支出を削減し、4,478千円の利益を確保した。
--	--	---

所管課の評価 (指摘事項)

【開館日数・利用者数について】 利用者数は昨年に比べ減少したが、計画に基づいて適切に開館しており、評価できる。	【事業の実施状況について】 地域と連携したイベント実施による集客強化や利用者サービスの向上に努めていることや、他事業者との連携により、地域活性化へ貢献している点は評価できる。	【収支状況について】 収入が減少した状況でも、自助努力により利益を出したことは評価できる。
---	---	---

2 チェック項目

評価項目・評価事項 (数値目標)	確認資料等	指定管理者の自己評価	所管課の評価	
受付等の業務	施設の利用許可等を条例に従い適切に行っている	日報、月報、利用者アンケート、申請書	適正 ・要改善	適正 ・要改善
	使用料、利用料金の徴収、減免を適切に行っている	日報、月報、申請書	適正 ・要改善	適正 ・要改善

施設・設備の維持管理	消防設備、機械設備の保守点検や施設の修繕等を適切に行っている		各種点検結果報告書、実地	適正・要改善	適正・要改善
	衛生環境を維持するため清掃業務等を適切に行っている		日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善
	備品等を適切に保管・管理している		備品台帳、実地	適正・要改善	適正・要改善
	業務の全部又は主たる業務を第三者に請け負わせていない		実地	適正・要改善	適正・要改善
安全性への配慮	安全管理、衛生管理、危機管理に関するマニュアルが整備され、また、職員等に対する指導訓練が適切であり、市への通報体制が整っている		危機管理マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	避難経路の確保、事故防止策や防犯等の警備業務など利用者への安全対策が講じられている		実地	適正・要改善	適正・要改善
	損害保険等の必要な保険に加入している		保険証書	適正・要改善	適正・要改善
透明性・公平性	ホームページ等により施設の情報の公開に努めている		ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
	情報公開に対する体制を整備している		情報公開マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	利用者の平等な利用が確保されている		日報、月報、利用者アンケート、申請書	適正・要改善	適正・要改善
効果的・効率的な運営	苦情や利用者アンケートによる意見、要望等を管理運営に反映している		利用者アンケート	適正・要改善	適正・要改善
	施設の利用者拡大の取組を行っている		日報、月報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	経費削減のための取組を行っている		日報、月報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	広報紙、チラシ、ホームページなどにより積極的に事業等を周知している		広報紙、チラシ、ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
人員配置・人材育成等	事業計画書どおりの人員を配置している	84人	人員配置計画、実地、出勤簿	79人 適正・要改善	適正・要改善
	事業計画書どおりの職員の指導育成や研修を行っている	5回/年	研修マニュアル	実施回数 5回 適正・要改善	適正・要改善
	障がい者や高齢者の雇用促進に努めている	30%	人員配置計画	46% 適正・要改善	適正・要改善
	労働法令の遵守や労働条件への適切な配慮がなされている		実地、出勤簿	適正・要改善	適正・要改善
個人情報の保護	個人情報保護のための取組を行っている		個人情報保護マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	文書管理を適切に行っている		保存文書	適正・要改善	適正・要改善
自主事業の取組	自主事業の実施により、市民サービスの向上に努めている		事業報告書、日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善
環境への配慮	省エネルギーの取組、環境負荷低減、ゴミの減量など、環境への配慮に取り組んでいる		日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善

※評価基準

「適正」：その項目について、協定書、事業計画書等に沿った適正な指定管理業務を行っている。

「要改善」：その項目について、協定書、事業計画書等に照らし合わせて、目標達成されておらず、改善の余地がある。

3 上記1、2の評価に関する所見

指定管理者による所見（改善点、その他特記事項）

利用者数は、前年と比較して約8.3%、収入は、約5.1%減少となった。この要因は、近隣における競合大型温泉施設の新設と最盛期の夏季シーズンにおける天候不順の影響に起因している。また、人員配置については、人手対策に苦慮しており、現有人員での効率的な運用対策を試み、計画人員配置数には満たないが、十分な施設運営が行える体制となっている。

なお、収支状況の経常利益では、売上高の減少と市への納付金の増加もあったが、人件費、水道光熱費等の減少により、4,478千円を確保することができた。

今後は、温泉：特別イベントデーの導入、レストラン：メニュー再構築、宿泊：高齢者への配慮（階段等の改善）、直売：シーズンイベント拡大等、部門毎、増収策を図りつつ、市及び地域と連携し、地域の活性化に取り組んでいく。

所管課による所見（指摘事項など）

天候や周囲の環境による影響を受けながらも、自助努力により安定した事業実施を行ない、利益を出していることは評価できる。各分野での改善策が利用者数の確保に繋がることを期待する。

また、適切な人員配置となるよう人手確保の努力が必要である。

今後も市及び地域事業者と連携し、観光プロモーションの中心的な役割を担う施設として地域の活性化及び観光事業の振興を図ることを期待する。